高麗山県民の森案内図

アクセス（高来神社まで）
・ＪＲ線平塚駅北口からバス【平43・46・47系統】「国府津駅または二宮駅南口行き」で６分、花水バス停下車。花水バス停から高来神社まで徒歩約５分。
・ＪＲ大磯駅から徒歩約２０分。

高来神社上宮（大堂）昭和48年撮影
写真の建物は昭和6年に再建されたものです。

明治30年～大正初期頃撮影
（写真提供：大磯町郷土資料館）

● 高麗山の景観今昔「高麗山のマツ」について

高麗山には昭和40年代半ばまで山の尾根沿いを中心にマツの大径木が多く生えていました。
樹齢からさかのぼると江戸時代初期（17世紀初め）頃に生えてきた（植栽された）ものと考えられます。山の尾根から突出した樹形は安藤広重の錦絵などに描かれ、すばらしい景観を創出してきました。しかし、マツノザイセンチュウ（松くい虫）による被害で昭和50年代初めには１本も無くなってしまいました。

天保10年（1839年）の図版。山は「松山」のように描かれています。
相中留恩記略全（部分）福原高峰 撰　長谷川雪堤 画 駸々舎堂 昭和42年12月刊より

昭和30年頃撮影。この頃はまだマツが健在であった頃です。
（写真提供：大磯町郷土資料館）

昭和42年撮影。松山の雰囲気がまだ残っています。

昭和49年撮影。枯損マツの伐採風景
これを見るだけでもいかに大木かがわかると思います。

昭和48年撮影。前の写真と比較してみてください。尾根沿いのマツが激減しているのがわかると思います。

昭和49年伐採したマツの切り株、樹齢368年。
（この輪切りは当センターに保存されています）

昭和60年頃撮影。
マツは1本もありません。

● 高麗（こま）という地名の由来

西暦668年、当時朝鮮半島北部にあった高句麗の滅亡とともに難をのがれた人達が船で渡来し、大磯の居谷原に上陸して化粧坂あたりに居住し、周辺の開拓を行ったといわれることに由来します。現在でも高来神社の夏祭の祝い歌はこのことをうかがわせる様子が歌われています。当時は高来（高麗）と書いてタカク、コウライと呼ばれていたようで、コマと呼ばれるようになったのは明治時代になってからです。
山の名前については平安時代延長年間（932～931）に編纂された和名抄（和名類聚抄）に現在の高麗一帯を「高来郷」（タカクゴウ）とする記述が見られることから郷にあるこの山を「高来山」と呼んでいたとも思われます。

● 高麗山の森の変遷

高麗山の森は幕末まで高来寺の所有でしたが明治維新とともに御料林（宮内省管理）となり、その後昭和13年、神奈川県に御下賜となり県の所有する森となりました。昭和46年からは県民のレクリエーション利用を目的とした整備を行い現在に至っています。

● 高麗山の植生について

山の植生は室町時代の戦火により荒廃したと考えられ、江戸時代になって高来寺（高麗寺）に徳川家康の御神影を勧請した慈眼大師（天海僧正：1536～1643）が定めた掟中には高麗山の樹木の伐採を禁止する旨があり、森林が保護されてきました。このようにして成立した植生は明治維新以降も保護されてきましたが、戦後、昭和21年に戦災復興資材確保のために山の北～東斜面約20ha（全体の3分の2程度）が伐採され、当時の植生は南斜面の天然記念物範囲に残るのみとなっています。天然記念物範囲内はスダジイ、タブノキ、イロハモミジ、ケヤキ等の常緑・落葉広葉樹林、それ以外の所ではイヌシデ、コナラ等の落葉広葉樹林とスギ、ヒノキ植林が広がっています。なお、天然記念物範囲内のスギ、ヒノキの大径木は主に江戸時代頃に信仰の関係で植栽されたものと考えられています。

● 高来神社（高麗神社）（たかくじんじゃ、こうらいじんじゃ）

11代垂仁天皇の御代に創建され、祭神神皇産霊尊（かみむすびのみこと）、瓊瓊杵尊（ににぎのみこと）を祀りその後27代安閑天皇2年（6世紀初め）に15代応神天皇と神功皇后を合祀されたと伝えられています。合計4柱が祭神として祀られています。

● 高来寺（高麗寺）（たかくじ、こうらいじ）

神社の敷地内にはかつて高来寺（高麗寺）と呼ばれるお寺がありました。奈良時代の僧者元年（717年）に行基（668～749）が、千手観音像（現在神社に現存）を本尊としたことが創建と思われています。後に法相宗の僧によって鷲足山雲上院と称しました。斉衡元年（854年）には慈覚大師（円仁、794～864）によって山の右峰に白山社（現在の東天照周辺）、左峰に毘沙門社（現在のハ俵山周辺）が建立され、以降、平安～鎌倉時代から寺は相模15大寺の中に数えられ、人々の尊崇を受けました。室町時代には寺自身が城郭として用いられたために度重なる兵火にあいましたが、江戸時代の寛永11年（1634年）には東照権現（徳川家康）の御神影を勧請し上野寛永寺の末寺となり、幕府の保護を受けました。しかし、1868年明治維新になると、神仏分離令により廃寺になりました。

参考文献
・高麗山（パンフレット）　神奈川県林業海務所
・大磯ふるさと紀行　森稔 光　郷土史研究会　相和出版社
・ふるさとと人　森稔 光　郷土史研究会　相和出版社
・大磯町誌第3巻（上）　神奈川県大磯高校郷土史研究会
・大磯町文化史　大磯町史編纂委員会　昭和50年
・大磯町史研究 第6号　大磯町　平成14年3月
・高麗山植物目録　神奈川県立湘南青少年の家　昭和57年
・大磯町の植生　大磯町　平成5年3月
・大磯町史9　別編 自然　大磯町　平成8年3月29日

神奈川県
自然環境保全センター
神奈川県厚木市七沢657
電話　046（248）6802